

表現の多様化

- I** レンブラント・ファン・レインの『ニコラース・デュルプ博士の解剖学講義』のように、描かれる対象が神や聖人、王侯貴族などから、実際の市民たちに変化してきました。今でいう集合写真でもあるこの絵にはどのような表現の工夫がされていますか。

- II** ロマン主義の画家であるウジェーヌ・ドラクロワの代表作、『民衆を導く自由の女神』を鑑賞しましょう。ロマン主義の画家は「個人の感情や価値観」を重要視して「それまで描く対象とされなかった主題」を扱うようになりました。

(1) 描かれているのはどのような人々ですか。

(2) 中央の女性（女神）は本当にいたのでしょうか。それとも何かの象徴としての存在なのでしょうか。意見を書いてみましょう。

(3) この絵を見て当時のフランス市民はどのように感じ取ったと思いますか。